

科目名	地域政策論			ナンバリング	RPP161	授業形態	講義
対象学年	3 年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	上遠野和村	担当教員					

授業の概要	本講義では、まず、戦後(1945年以降)の経済、社会、暮らし(生活様式)などの変遷、国の国土政策としての地域政策の変遷などをふり返し、時代の流れ、時代のスパンなどの時代感覚、地域政策の在り様などの理解を深めるとともに、グローバル化の中に地域政策・地域づくりはどうあるべきか、震災復興、地方創生などの地域政策はどうあるべきか、地方自治体(政府)はどんな対応が求められているのかなどについて考察する。 講義は、これらの理解を通じて、地域政策をめぐる問題に関して課題を提起する力、さらに解決するための思考力、構想力を身につけることを目指す。						
到達目標	1. 地域社会活動や企業活動を行う上で必要とされる能力を身につけるため、時代の流れや地域政策の基礎的知識を修得 する。 2. 身近な具体的事例の検討を通して当事者意識や現場感覚を培うとともに、中長期展望を構想する力を身につける。 3. 公務員試験をはじめ資格試験が求める水準の知識、能力を修得する。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	新聞等マスコミで報道される行政活動に関するニュースに関心を持ち、積極的に目を通すよう心懸けるとともに、ニュース等を読み込む際には、テキスト、配布するレジュメ、「どう思う?どう考える?」等の事例資料などを参考に、できるだけ複数の視点を意識するようにすること。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
		1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
		4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
	○	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①地域政策論に関するキーワードについて、その意味を説明できる。 ②地域政策における国と地方の構造的関係について、時代変遷を踏まえて説明できる。 ③地域政策における国と地方の視点の相違を説明できる。 ④日本の地方自治制度の特質について、具体的事例に即して説明できる。 ⑤公務員試験等各種資格試験における地域政策・地方自治制度の基礎的問題を解くことができる。	①地域政策論に関するキーワードを理解したうえで、その役割と位置づけを説明できる。 ②国と地方の構造的関係について、時代変遷を踏まえ、中長期的な視点で考えることができる。 ③地域政策における国と地方の視点の相違を具体的事例・事件に即して説明できる。 ④日本の地方自治制度の特質について、批判的見解を含めて自らの考えを説明できる。 ⑤公務員試験等各種資格試験における地域政策・地方自治制度のハイレベルな問題を解くことができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○	○		○		60%
小テスト・授業内レポート	○	○	○				20%
宿題・授業外レポート	○	○	○				10%
授業態度・授業への参加			○	○			10%

課題、評価のフィードバック	1. 講義内容の区切りで配付する「課題・問題の整理」(整理問)は授業の中で解説を行う。 2. 試験解答用紙は、要請があればいつでも開示できるよう準備しておく。
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	ガイダンス	講義の目的・内容、到達目標、授業の全体概要、キーワードなどについて解説する。	
	第2回	地域政策論とは	地域、地域政策論を考えるために、「どう思う？どう考える？ー今地域を学ぶ意味」、「どう思う？どう考える？ー将来世代の身になって」について解説し、意見交換する。	
	第3回	戦後の経済成長と暮らしの変遷 ①	第2次世界大戦後(1945年以降)の経済成長、暮らし(生活様式)変遷、時代の流れなどについて解説し、意見交換する。	
	第4回	戦後の経済成長と暮らしの変遷 ②	第2次世界大戦後(1945年以降)の産業構造の変遷、人口動態などの変遷について解説し、意見交換する。	
	第5回	戦後の経済成長と暮らしの変遷 ③	第2次世界大戦(1945年以降)の地域社会、職場環境、街並みなどの変遷など、また、経済社会の変遷全体について解説し、意見交換する。	
	第6回	国土政策としての地域政策 ①	1962年の全国総合開発計画(全総)、第2次全国総合開発計画(新全総)について解説し、意見交換を行う。	
	第7回	国土政策としての地域政策 ②	第3次全国総合開発計画(三全総)、第4次全国総合開発計画(四全総)について解説し、意見交換を行う。	
	第8回	国土政策としての地域政策 ③	21世紀の国土のグランドデザイン(五全総)、国土形成計画法について解説し、意見交換を行う。	
	第9回	国主導の町村合併 ①	近代的地方自治制度である「市制町村制」以降の国主導による市町村合併の歴史とその背景を解説し、意見交換を行う。	
	第10回	国主導の町村合併 ②	「平成の大合併」の三段階の合併展開と国主導に対する福島県の対応などについて解説し、意見交換を行う。	
	第11回	グローバル化の中の地域政策・地域づくり ①	地域づくりの変遷、グローバル化の進展する今日の時代状況について、リーマン・ショック、ギリシア危機、大震災などを解説し、意見交換を行う。	
	第12回	グローバル化の中の地域政策・地域づくり ②	外来型地域開発による地域づくりと内発型地域づくり、七つの生活圏構想など福島県の地域づくりについて解説し意見交換を行う。	
	第13回	マネー資本主義と里山資本主義 ①	マネー資本主義と里山資本主義、市場原理と「身の丈の原理」、短期利益の最大化と長期的経済合理性などについて解説し、意見交換を行う。	
	第14回	マネー資本主義と里山資本主義 ②	里山資本主義に関連し、オーストリアでの試み、全国各地での取組、本県内における取組などを解説し、意見交換を行う。	
	第15回	まとめ	全体のまとめと質問への回答	
	試験	前講義終了後に期末試験(筆記試験)を実施する。		
授業の進め方		基本的に講義と質疑応答とする。 また、事例資料(「どう思う？どう考える？」等)でのグループ討議、講義内容の区切りでの「課題・問題の整理」(整理問)などを行う。		
授業外学習の指示		配布レジュメを参考に、新聞記事等事例関連資料等で予習・復習を行うこと。 また、公務員試験・資格試験等を希望する者には、「課題・問題の整理」(整理問)の復習とともに過去問を解いてみることを勧める。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	レジュメ、新聞記事等事例関連資料を配付する。
参考書	「里山資本主義」 藻谷浩介・NHK広島取材班 角川oneテーマ21 781円＋税 「図解 地方自治のしくみ(第5次改定版)」 今井 照著 学陽書房 1,900円＋税
参考URLなど	
その他	1. 公務員試験受験者は履修することが望ましい。 2. 地域政策論に関連する社会的あるいは時事的問題が生じた場合などには、授業内容の一部を変更することがある。